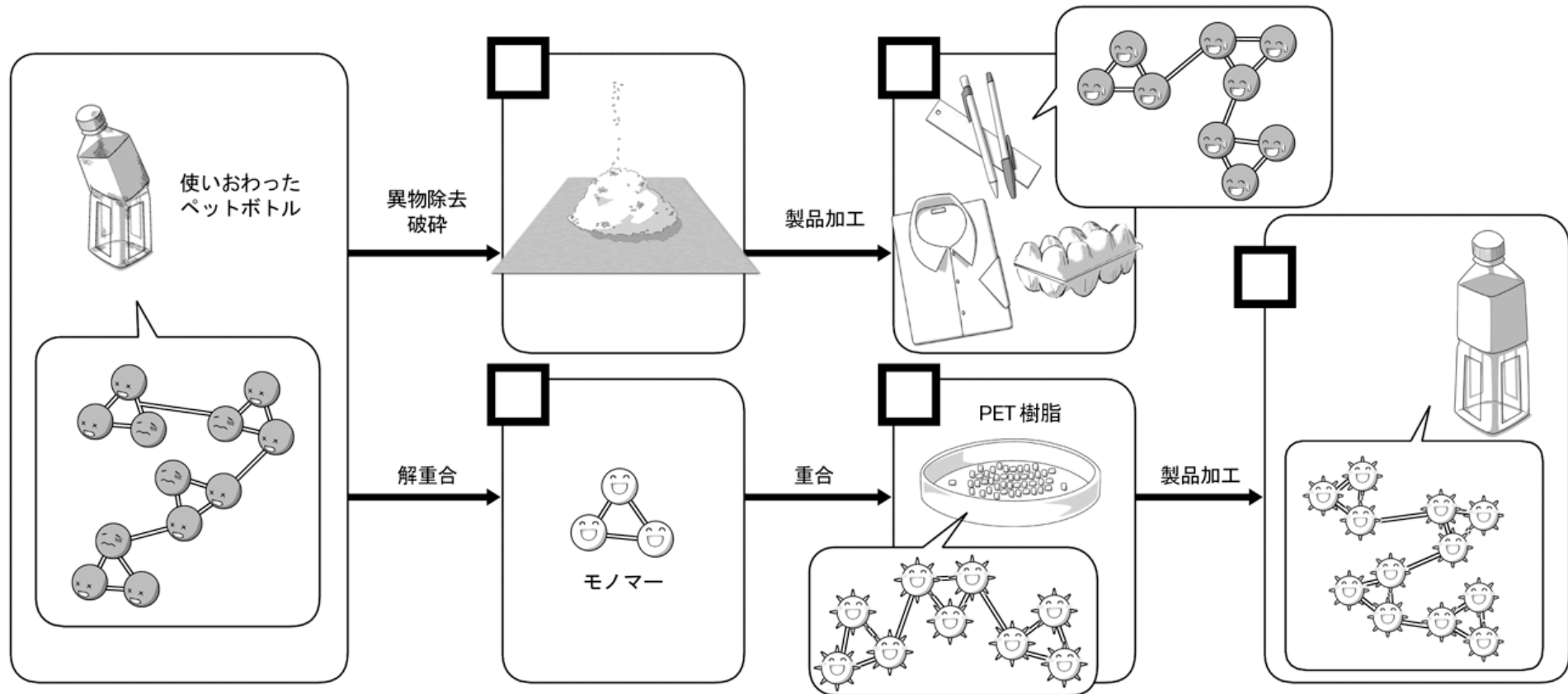


ケミカルリサイクル 原料・モノマー化

ペットボトルを細かく砕くなどして原料化するリサイクルではなく、化学的な方法で樹脂の原料やモノマー（分子化合物の単体のことで、複数のモノマーを化学反応させて作ったものがポリマー。ペットボトルなどのプラスチックはポリマーである）に戻して、再度プラスチックの原料とする方法が原料・モノマー化です。

下のイラストは、原料・モノマー化とマテリアル（材料）リサイクルを表したものです。それぞれのリサイクルの特徴に関する説明文を下から選び、番号を書き込んでください。



1
フレークなどを原料に、プラスチック製品を作る。
元気がなかったポリマーが多少元気を取り戻しているが、元気いっぱいではない。

2
ポリマーを石油から作ったプラスチック原料と同じモノマーに戻す。
疲れたポリマーが、元気なモノマーになる。

3
ペットボトルを破砕し、フレーク・ペレット状の原料にする。

4
PET樹脂を加工して、ペットボトルを作る。
石油から作ったペットボトルと全く変わらないものができる。

5
モノマーを再度結合（重合）させ、PET樹脂（ポリマー）を作る。
重合させたポリマーは生まれ変わったかのように元気。

| 年 | 組 | 名前 |
|---|---|----|
| | | |